

## 2012年3月6日開催 第566回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員  
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 佐藤友美子委員 東野博昭委員

### ■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役  
立野コンプライアンス室長

### ◆ 「MBSの番組・放送全般」について、自由な意見交換をした。

#### 各委員の主な意見は次の通り。

- \* 「ちちんぷいぷい」は、司会者が代わっても、番組のスピリットがそのまま残っていることに驚いている。
- \* アナウンサーが真剣に取り組んでいるリポートは、説得力がある。個人的なアナウンサーやスタッフの感想が入ってくるのが面白い。
- \* 「ぷいぷい」に関しては、食べ方のマナーについて視聴者の意見が出ているのがとても気になる。改善を徹底できないのか。
- \* 番組をパーソナリティーの色で染めるといのは、番組を私物化しているような印象がある。パーソナリティーが番組を、強く支配するようなあり方をどう考えているのか。
- \* 「住人十色」は、スタッフや制作している人たちの番組という感じがし、すごく気持ちよい。「魔法のレストラン」もつくっている人の顔、思いが伝わってくる。
- \* 「VOICE」は、とらえ方の目線が低い。街で暮らしている普通の人の感覚での切り口があって、すごく良質な番組だと思う。
- \* 「視聴者からの声」は、普通の人を書いてきている印象を受ける。番組審議会の意見も重要だが、視聴者の声は、それ自体を議題にしてもいい。
- \* インターネットだったり、テレビのチャンネルも増え、選択するというのが大事になってくる。それに対する番組情報をどう提供するかは、大きな課題。
- \* 番審の対象番組には、新しい試みや、評価が分かれるものなどを見せていただきたい

い。何か課題を見つけて、意見できる番組を見せてもらいたい。

\*いい作品は、見ている人、聞いている人に、何かアクションを起こすきっかけを与えたり、そこで紹介された人と出会うチャンスをつくる。絆を生み出すきっかけになるような番組が、感銘深い番組だと思う。

以上